



カテゴリ: サステナビリティ

2023年3月30日
第 2 2 1 2 3 号



JAL、伊藤忠商事とSAFの調達契約を締結し 初めての国内混合SAFを調達

～航空会社として初めて、中部国際空港でSAFを搭載します～

JALグループは、2050年のCO₂排出量実質ゼロに向けて、省燃費機材への更新、運航の工夫に加えて、SAF(Sustainable Aviation Fuel: 持続可能な代替航空燃料)の活用を掲げておりますが、その一環として、伊藤忠商事株式会社(本社: 東京都港区、以下「伊藤忠商事」)と、SAFの調達に関する長期的な基本契約、ならびに航空会社として初めて中部国際空港でSAFを調達する契約を締結しました。



■ 初めての国内混合 SAF を調達

今回調達した SAF は、伊藤忠商事が輸入したニート SAF(混合前の純粋な SAF)(*1)を、富士石油株式会社(本社: 東京都品川区)が国内で通常のジェット燃料と混合(*1)したものです。国土交通省の実証事業(*2)を通じて、国内でニート SAF とジェット燃料を混合し航空機に供給するサプライチェーンが構築されたことで、今回の調達が可能となりました。

■ 航空会社初、中部国際空港で SAF を搭載

今回の調達により、2023年4月以降、航空会社として初めて中部国際空港でSAFを搭載します。また、中部国際空港に加えて、羽田空港や成田空港でも順次今回調達したSAFの搭載を予定しています。

今後も、海外ではJALおよびワンワールド アライアンスメンバーと共同でSAFの調達を進めるとともに、国内においてはSAF官民協議会への参画や「[ACT FOR SKYの活動](#)」を通じて、業界の垣根を超えたオールジャパン体制で国産SAFの商用化および普及・拡大に取り組んでまいります。

(*1)ニートSAFとジェット燃料の混合:

航空機にSAFを搭載するためには、石油由来ではない原料(動物油脂や廃食油、廃棄物など)から製造されたニートSAFと石油由来のジェット燃料を、燃料に関する国際規格に定められた割合で混合する必要があります。なお今回、伊藤忠商事が輸入したニートSAFは、Neste OYJ社(本社: フィンランド)が製造したものです。

(*2)国土交通省の実証事業:

SAFのサプライチェーン構築に向けて、輸入したニートSAFとジェット燃料を国内で混合し、国土交通省航空局が所有する機体に給油したものです。

